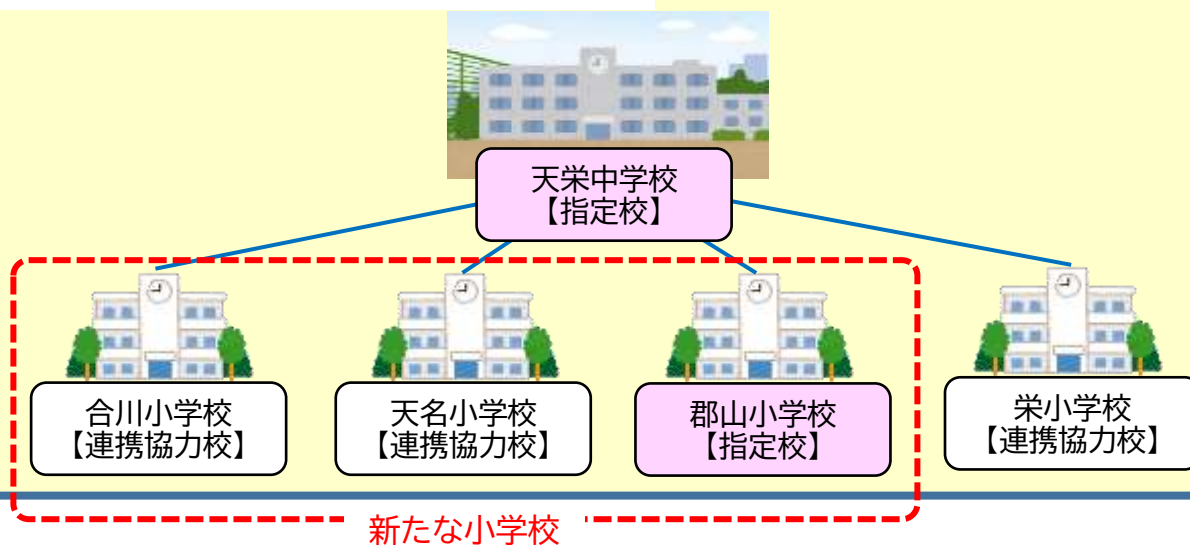


天栄中学校区を中心とした研修体制(案)

自ら学ぶ子ども～自律した学習者～の育成をめざして

文部科学省「リーディングDXスクール事業」



【実施内容】

- ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現する観点から、**1人1台端末とクラウド環境を毎日、高い頻度で活用**する。
 - ⇒ ② 教育課程全体を通じた**情報活用能力の育成**。
 - ⇒ ③ **動画教材の活用**、地域人材や外部専門家の参画を得た**オンライン授業**、**端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実**。
 - ④ **校務 DX の推進**。(対話的・協働的な職員会議・教員研修の実施、保護者との連絡 等)
 - ⑤ 学校が一丸となって実践を行い、**全国の端末活用事例から学び続ける**。
 - ⑥ ①～④の実践内容に係る動画や写真、研修内容などを、学校又は教育委員会の**ウェブサイト**で**積極的に公開**する。
- ※ キックオフ会議(東京)、夏季学習会への参加。

【経費】 100万円程度を予定

- ・ キックオフ会議、夏季学習会の参加旅費
- ・ GIGA 端末の活用事例を掲載した市販の教育書等の購入
- ・ 指定校視察旅費、講師等謝金、これらに関わる連携協力校の必要経費

【事業報告書(成果物)】

- ・ 他校が参照しやすい動画、写真
- ・ 各種研修会のオンライン配信
- ・ 実践事例の記録スライド資料
- ・ 共通アンケートへの回答

※ 従来の分厚い報告書は不要。

【学校DX戦略アドバイザー】
信州大学 教育学部
佐藤和紀 准教授



参照: 令和6年度リーディングDXスクール事業内容

- ・ 天栄中学校区公開授業での助言
- ・ 天栄中学校区合同研修会の講師
- ・ 研修講座の講師
- ・ 学力×ICT プロジェクト会議での助言 等

(年間最大で10回程度の派遣
旅費・謝金は全額国費(委託費とは別))